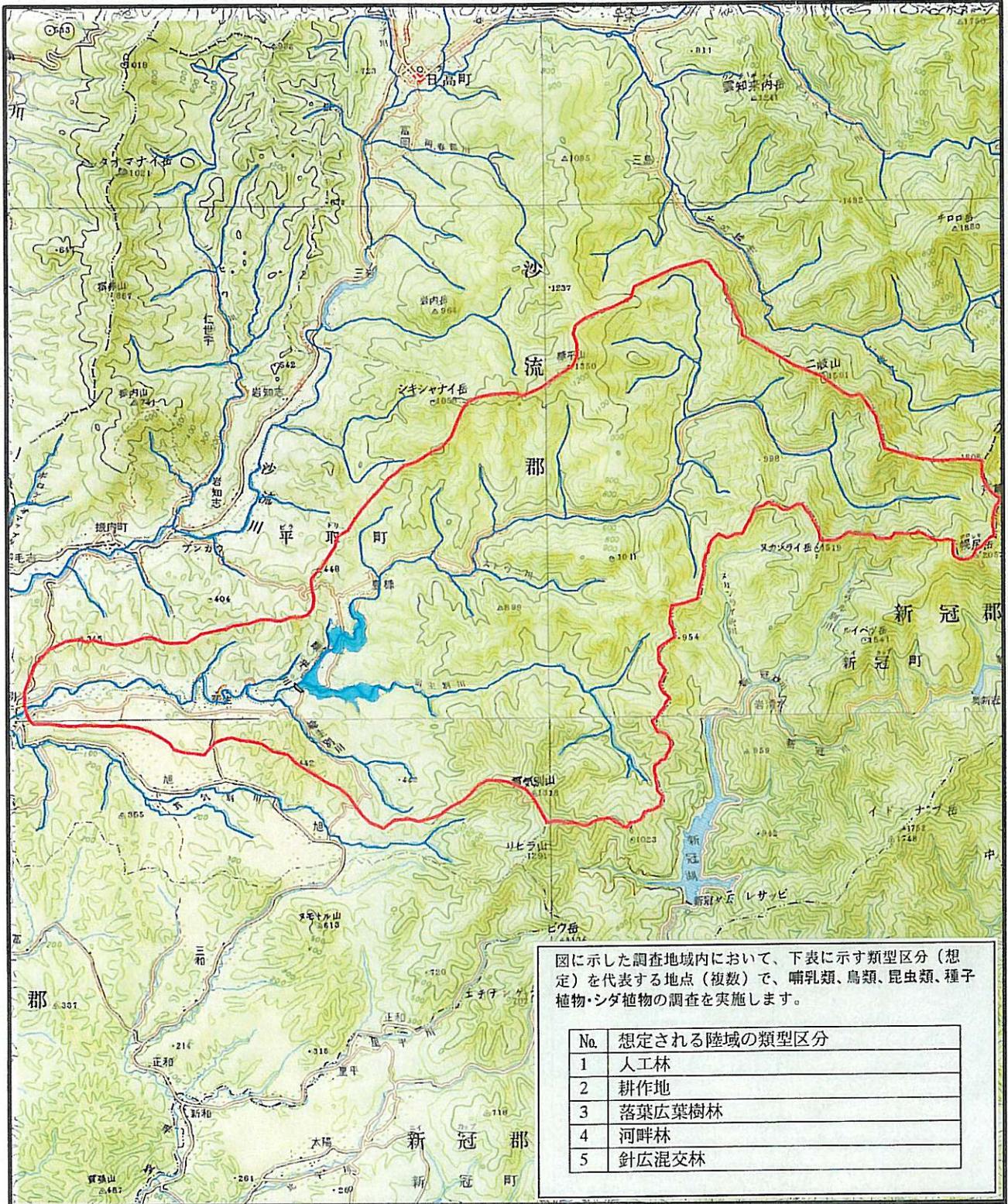


3-4 生態系

生態系調査

追加した調査項目

調査項目		調査年度	調査時期	追加調査が必要な理由	
生態系	典型性 (陸域)	哺乳類 鳥類 昆虫類 種子植物及び シダ植物	17年度	2季程度	各環境類型区分(人工林、耕作地、落葉広葉樹林、河畔林、針広混交林の5区分)の広さに応じた複数の調査地点を設置し、類型区分検証のための哺乳類、鳥類、昆虫類、種子植物・シダ植物の現地調査を、平成17年度に各2季程度、実施する。 なお、両生類、爬虫類については定量的な調査が困難なため実施しない。
	典型性 (河川域)	鳥類 両生類 魚類 底生動物	17年度	2季程度	各環境類型区分(渓流部河川、耕作地部河川、水田・平地部河川の3区分)の広さに応じた複数の調査地点を設置し、類型区分検証のための鳥類、魚類、底生動物の現地調査を、平成17年度に各2季程度、実施する。 また、魚類及び底生動物については、ダム下流物理環境の変化により失われる可能性がある環境(砂泥、砂礫等)に依存する種の分布状況及びその生息環境を調査する必要がある。
		河川藻類	17年度	2季程度	各環境類型区分の広さに応じた複数の調査地点を設置し、類型区分検証のための現地調査を、平成17年度に各2季程度、実施する。 なお、極力、魚類及び底生動物と同じ調査地点を設定するものとする。

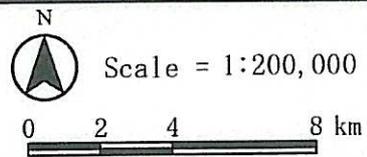


図に示した調査地域内において、下表に示す類型区分(想定)を代表する地点(複数)で、哺乳類、鳥類、昆虫類、種子植物・シダ植物の調査を実施します。

No.	想定される陸域の類型区分
1	人工林
2	耕作地
3	落葉広葉樹林
4	河畔林
5	針広混交林

凡例

-  ダム堤体
-  貯水予定区域
-  生態系調査地域(広域環境ベースマップ)



陸域生態系(典型性)調査地域
(広域環境ベースマップ)



図に示した調査地域内において、下表に示す類型区分（想定）を代表する地点（複数）で、鳥類、両生類、魚類、底生動物、河川藻類の調査を実施します。

No.	想定される河川域の類型区分
1	溪流部河川
2	耕作地部河川
3	水田・平地部河川

凡例

-  ダム堤体
-  貯水予定区域
-  河川域調査範囲



Scale = 1:300,000

0 4 8 16 km

河川域調査地域